

# 議会活性化特別委員会 報告

## 1. 委員構成

委員長：辰川志郎

副委員長：東野真樹

委員：上野清隆、若林 高、荒谷啓一、一色眞一、中川敬雄、南出貞子、上田朋和、今津和喜夫

## 2. 調査目的

議会改革、広報・広聴に関する調査研究

## 3. 調査期間

令和4年9月26日～令和5年9月27日

## 4. 委員会等開催状況

	委員会	広報部会	意見交換会	行政視察
令和4年	3回	2回	0回	0回
令和5年	6回	6回	1回	1回
合計	9回	8回	1回	1回

## 5. 協議事項件数

委員会 23件（令和4年：8件、令和5年：15件）

広報部会 10件（令和4年：2件、令和5年：8件）

## 6. 意見交換会

◆2月13日 大聖寺実業高等学校

「加賀市の活性化」「加賀市の福祉政策」



大聖寺実業高等学校との意見交換会（令和5年2月）

## 7. 行政視察

◆1月16日 東京都町田市議会

「住民参画の取組、議会機能強化の取組、情報共有の取組について」

◆1月17日 東京都葛飾区議会

「子ども区議会について」

## 8. 主な取組事項

### ① 大聖寺実業高等学校との意見交換会の開催

若者の市政及び議会への関心度を高める取組の一つとして、3年ぶりに大聖寺実業高等学校との意見交換会を開催した。当日は、「加賀市の活性化」または「加賀市の福祉政策」のテーマに関して議員と高校生が意見交換を行い、意見を取りまとめ、高校生が発表を行った。

## ② 議会報告会「議会おでかけトーク」の実施

今年度も昨年度に引き続き、実施要綱に基づき市内 11 会場（まちづくり単位）で開催した。

当日は、まず議会基本条例に基づく取組について 4 点報告し、その後、昨年度に引き続きグループトーク方式による意見交換を行った。グループトークでは、各グループの議員が進行役となり意見交換を行った。

参加者へのアンケートの結果では、グループトーク方式に対し、「とても気軽に意見・考えを発言することができた」、「比較的気軽に意見・考えを発言することができた」と回答した方が 8 割を超えており、参加者からは活発な御意見・御提案をいただくことができた。

今後は、アンケート結果などを参考にしながら、令和 6 年度に生かしていく必要があると思われる。



議会報告会当日の様子

## ③ 子ども議会の開催

加賀市の未来を担う中学生に、選挙権年齢の引下げにより身近なものとなった議会や市政への理解と関心を高めてもらうとともに、市政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目的として、8月2日に子ども議会を開催した。

当日、12人の子どもが議長と議員に分かれて、市政や学校生活などに対し、若い感性や視点から市当局に質問した。

子ども議員へのアンケートの結果では、「自分の意見に対してしっかりと答えてくれてうれしかった」、「市政や学校の改善点について、改革意識を持てたことがよかった」などの御意見をいただいた。



子ども議会の様子

## ④ 議会改革度調査2022ランキング全国4位に飛躍

早稲田大学マニフェスト研究所が、毎年、全国の県市区町村議会へ議会改革に関するアンケート「議会改革度調査」を実施しており、議会改革度調査2022において、加賀市議会が全国4位となり、中部地方の議会では1位という評価をいただいた。

調査項目に対する回答については、委員会で回答案について協議し、ランキング向上に資するさらなる議会改革の取組が実施できるかどうかについて検討した上で回答した。

## 9. 調査の結果

本委員会では、この間、9回の会議を開き、議会活性化に向けた議論や調査を重ね、着実に実行してきた。

早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査2022において、昨年度の全国54位から大きく飛躍し、過去最高順位に並ぶ全国4位となったことは、コロナ禍においても積極的に続けてきた議会改革の取組の積み重ねが全国的に評価されたものであり、大変喜ばしいことである。今後は市民からも高い評価を得られるよう、引き続き、議会活性化に向けた取組を進めていくことが大切であると考えます。

よって、次期委員会でも本委員会でもまとめた申し送り事項等を踏まえ、議会基本条例の趣旨に則り、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を期待する。